

## 結 果 の 概 要

### 1 就業保健師・助産師・看護師・准看護師

#### (1) 就業保健師等の年次推移

令和2年末現在の就業保健師（以下「保健師」という。）は55,595人（男1,598人、女53,997人）で、前回（平成30年）に比べ2,640人（5.0%）増加している。

就業助産師（以下「助産師」という。）は37,940人で、前回に比べ1,029人（2.8%）増加している。

就業看護師（以下「看護師」という。）は1,280,911人（男104,365人、女1,176,546人）で、前回に比べ62,305人（5.1%）増加している。

就業准看護師（以下「准看護師」という。）は284,589人（男20,726人、女263,863人）で、前回に比べ19,890人（6.5%）減少している。（表1、統計表1、統計表2）

表1 就業保健師等の年次推移

各年末現在

	平成22年	24年	26年	28年	30年	令和2年	対平成30年	
	(2010)	('12)	('14)	('16)	('18)	('20)	増減数	増減率(%)
	実人員(人)							
保健師	45 028	47 279	48 452	51 280	52 955	55 595	2 640	5.0
男	582	730	936	1 137	1 352	1 598	246	18.2
女	44 446	46 549	47 516	50 143	51 603	53 997	2 394	4.6
助産師 <sup>1)</sup>	29 672	31 835	33 956	35 774	36 911	37 940	1 029	2.8
看護師	952 723	1 015 744	1 086 779	1 149 397	1 218 606	1 280 911	62 305	5.1
男	53 748	63 321	73 968	84 193	95 155	104 365	9 210	9.7
女	898 975	952 423	1 012 811	1 065 204	1 123 451	1 176 546	53 095	4.7
准看護師	368 148	357 777	340 153	323 111	304 479	284 589	△19 890	△ 6.5
男	23 196	23 148	22 877	22 140	21 777	20 726	△1 051	△ 4.8
女	344 952	334 629	317 276	300 971	282 702	263 863	△18 839	△ 6.7
	構成割合(%)							
保健師	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
男	1.3	1.5	1.9	2.2	2.6	2.9		
女	98.7	98.5	98.1	97.8	97.4	97.1		
看護師	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
男	5.6	6.2	6.8	7.3	7.8	8.1		
女	94.4	93.8	93.2	92.7	92.2	91.9		
准看護師	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
男	6.3	6.5	6.7	6.9	7.2	7.3		
女	93.7	93.5	93.3	93.1	92.8	92.7		
	人口10万対(人)							
保健師	35.2	37.1	38.1	40.4	41.9	44.1		
男	0.5	0.6	0.7	0.9	1.1	1.3		
女	34.7	36.5	37.4	39.5	40.8	42.8		
助産師 <sup>1)</sup>	23.2	25.0	26.7	28.2	29.2	30.1		
看護師	744.0	796.6	855.2	905.5	963.8	1015.4		
男	42.0	49.7	58.2	66.3	75.3	82.7		
女	702.0	746.9	797.0	839.2	888.5	932.7		
准看護師	287.5	280.6	267.7	254.6	240.8	225.6		
男	18.1	18.2	18.0	17.4	17.2	16.4		
女	269.4	262.4	249.7	237.1	223.6	209.2		

注：1)「助産師」は、女のみ。

## (2) 就業場所別にみた就業保健師等

就業場所別に実人員をみると、保健師は「市区町村」が30,450人（構成割合54.8%）と最も多くなっている。助産師、看護師及び准看護師は「病院」が最も多く、それぞれ23,321人（61.5%）、883,715人（69.0%）、101,628人（35.7%）となっている。

常勤換算数をみると、保健師は「市区町村」が27,967.8人（54.4%）と最も多くなっている。助産師、看護師及び准看護師は「病院」が最も多く、それぞれ22,217.2人（64.9%）、846,036.3人（72.2%）、93,985.3人（38.1%）となっている。（表2）

表2 就業場所別にみた就業保健師等（実人員・常勤換算数<sup>1)</sup>）

令和2（2020）年末現在

	保健師		助産師		看護師		准看護師	
	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数
	実人員・常勤換算数（人）							
総数	55 595	51 405.1	37 940	34 248.4	1 280 911	1 172 014.1	284 589	246 696.0
病院	3 559	3 329.7	23 321	22 217.2	883 715	846 036.3	101 628	93 985.3
診療所	2 301	2 088.1	8 562	7 382.9	169 343	135 240.4	92 389	76 829.4
助産所	4	3.8	2 369	1 955.6	267	218.4	68	55.6
訪問看護ステーション	307	255.0	37	28.5	62 157	53 404.2	5 347	4 327.3
介護保険施設等 <sup>2)</sup>	1 603	1 527.9	<sup>3)</sup> ...	<sup>3)</sup> ...	100 701	82 697.4	70 477	59 563.0
社会福祉施設	519	457.9	23	20.0	22 021	18 332.5	10 555	8 860.4
保健所	8 523	7 963.3	354	195.2	1 543	918.5	43	25.1
都道府県	1 429	1 349.3	65	59.7	2 099	1 717.1	39	27.1
市区町村	30 450	27 967.8	1 474	792.9	7 544	4 818.0	903	542.3
事業所	3 789	3 551.5	29	19.1	5 176	4 349.4	1 063	808.3
看護師等学校養成所 又は研究機関	1 194	1 159.2	1 562	1 487.9	17 519	16 868.1	46	39.9
その他	1 917	1 751.6	144	89.4	8 826	7 413.8	2 031	1 632.3
	構成割合（%）							
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
病院	6.4	6.5	61.5	64.9	69.0	72.2	35.7	38.1
診療所	4.1	4.1	22.6	21.6	13.2	11.5	32.5	31.1
助産所	0.0	0.0	6.2	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0
訪問看護ステーション	0.6	0.5	0.1	0.1	4.9	4.6	1.9	1.8
介護保険施設等 <sup>2)</sup>	2.9	3.0	<sup>3)</sup> ...	<sup>3)</sup> ...	7.9	7.1	24.8	24.1
社会福祉施設	0.9	0.9	0.1	0.1	1.7	1.6	3.7	3.6
保健所	15.3	15.5	0.9	0.6	0.1	0.1	0.0	0.0
都道府県	2.6	2.6	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0
市区町村	54.8	54.4	3.9	2.3	0.6	0.4	0.3	0.2
事業所	6.8	6.9	0.1	0.1	0.4	0.4	0.4	0.3
看護師等学校養成所 又は研究機関	2.1	2.3	4.1	4.3	1.4	1.4	0.0	0.0
その他	3.4	3.4	0.4	0.3	0.7	0.6	0.7	0.7

注：1) 常勤換算数とは、各就業者に常勤換算率を掛けた数値を足上げたものである。

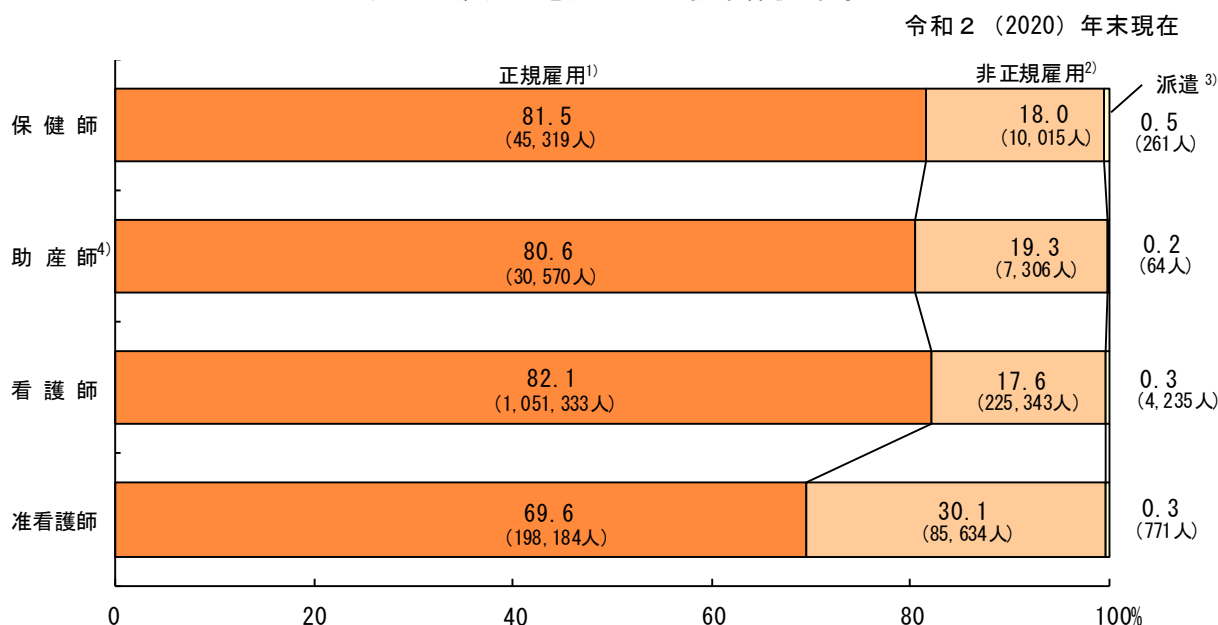
2) 「介護保険施設等」とは、「介護老人保健施設」「介護医療院」「指定介護老人福祉施設」「居宅サービス事業所」「居宅介護支援事業所」等をいう。

3) 「助産師」は、「介護保険施設等」について調査していない。

### (3) 雇用形態別にみた就業保健師等

雇用形態別にみると、保健師、助産師、看護師及び准看護師のいずれも「正規雇用」が最も多く、保健師は45,319人（構成割合81.5%）、助産師は30,570人（80.6%）、看護師は1,051,333人（82.1%）、准看護師は198,184人（69.6%）となっている（図1）。

図1 雇用形態別にみた就業保健師等



注：括弧内は実人員である。

1) 「正規雇用」とは、施設が直接雇い入れた者であって、契約期間が限定されていない者をいう。

2) 「非正規雇用」とは、名称に係わらず、「正規雇用」及び「派遣」に該当しない者をいう。

3) 「派遣」とは、派遣会社から派遣されている者をいう。

4) 「助産師」は、助産所開設者を含む。

### (4) 年齢階級別にみた就業保健師等

年齢階級別にみると、保健師は「40～44歳」が8,016人（構成割合14.4%）と最も多くなり、助産師は「25～29歳」5,797人（15.3%）、看護師は「40～44歳」181,281人（14.2%）、准看護師は「55～59歳」46,454人（16.3%）が最も多くなっている（表3、統計表2）。

表3 年齢階級別にみた就業保健師等

令和2（2020）年末現在

	保健師		助産師		看護師		准看護師	
	実人員(人)	構成割合(%)	実人員(人)	構成割合(%)	実人員(人)	構成割合(%)	実人員(人)	構成割合(%)
総数	55 595	100.0	37 940	100.0	1 280 911	100.0	284 589	100.0
25歳未満	2 154	3.9	2 232	5.9	107 574	8.4	6 539	2.3
25～29歳	6 419	11.5	5 797	15.3	166 512	13.0	8 336	2.9
30～34	7 384	13.3	4 920	13.0	138 792	10.8	11 134	3.9
35～39	8 003	14.4	4 836	12.7	153 523	12.0	20 601	7.2
40～44	8 016	14.4	4 963	13.1	181 281	14.2	31 517	11.1
45～49	7 114	12.8	4 802	12.7	173 766	13.6	37 161	13.1
50～54	6 371	11.5	4 050	10.7	142 039	11.1	41 810	14.7
55～59	5 606	10.1	3 052	8.0	110 012	8.6	46 454	16.3
60～64	3 010	5.4	1 841	4.9	67 267	5.3	40 571	14.3
65歳以上	1 518	2.7	1 447	3.8	40 145	3.1	40 466	14.2

### (5) 都道府県別にみた人口10万対就業保健師等数

都道府県別に人口10万人当たりの保健師数をみると、「長野県」が82.6人と最も多く、次いで「高知県」が80.7人、「山梨県」が80.2人となっている。一方、「神奈川県」が26.9人と最も少なく、次いで「大阪府」が27.7人、「埼玉県」が30.7人となっている。（図2）

人口10万人当たりの助産師数をみると、「島根県」が50.7人と最も多く、次いで「鳥取県」が46.4人、「長野県」が43.9人となっている。一方、「広島県」が24.0人と最も少なく、次いで「埼玉県」が24.1人、「愛媛県」が24.3人となっている。（図3）

図2 人口10万対就業保健師数

令和2（2020）年末現在

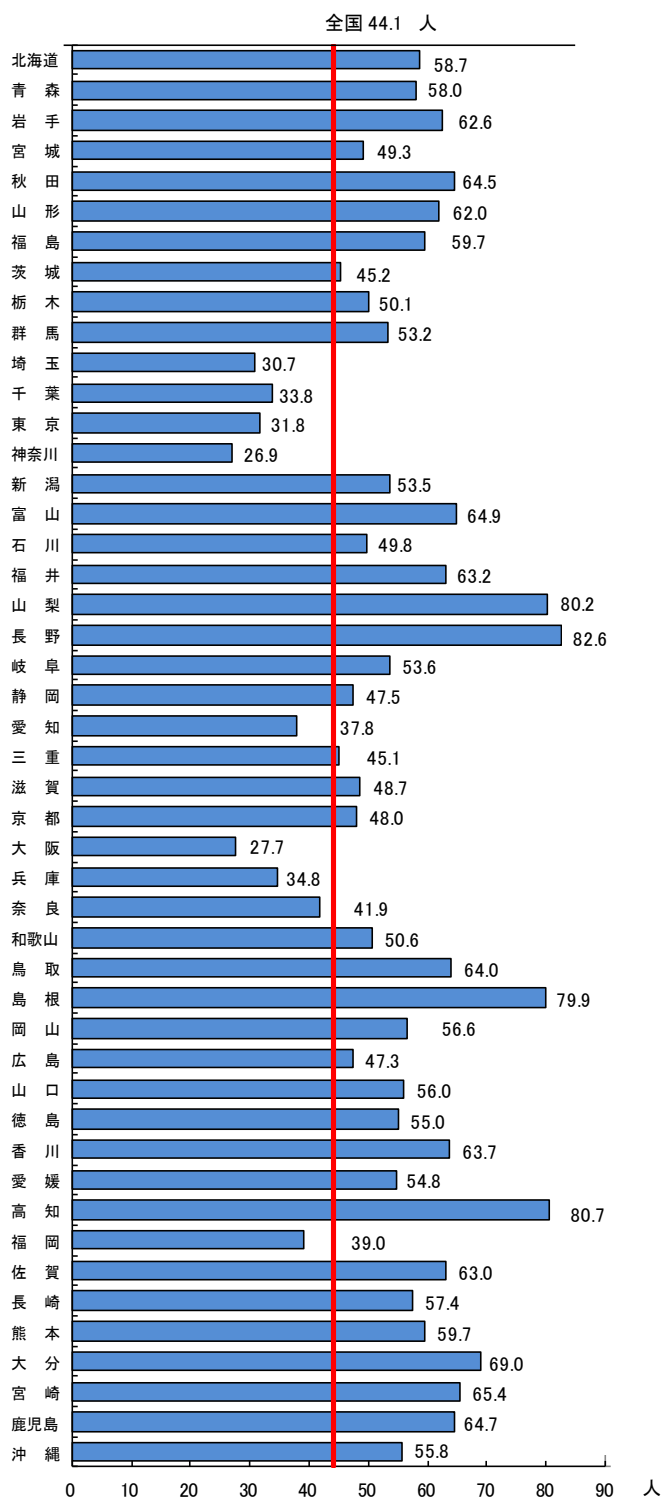
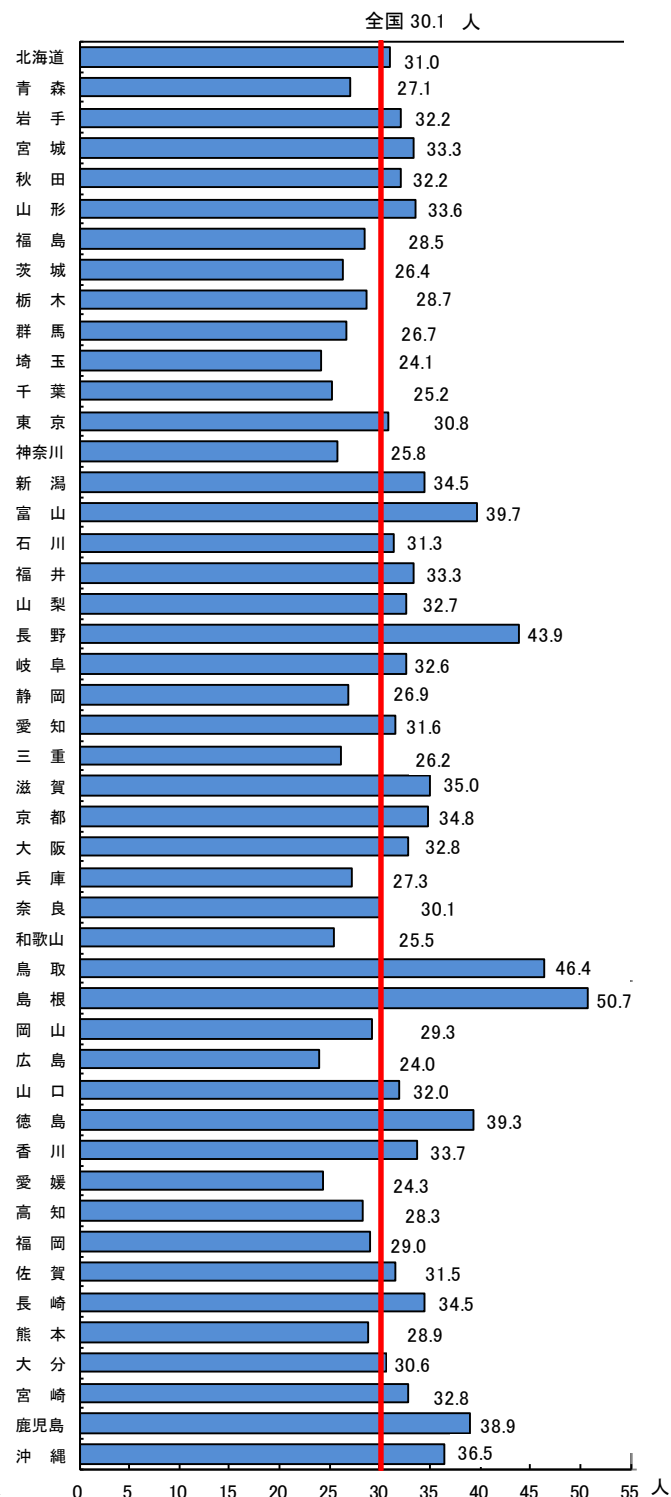


図3 人口10万対就業助産師数

令和2（2020）年末現在



人口10万人当たりの看護師数をみると、「高知県」が1,623.4人と最も多く、次いで「鹿児島県」が1,476.0人、「佐賀県」が1,403.6人となっている。一方、「埼玉県」が736.9人と最も少なく、次いで「千葉県」が770.0人、「神奈川県」が791.8人となっている。（図4）

人口10万人当たりの准看護師数をみると、「熊本県」が542.7人と最も多く、次いで「宮崎県」が540.6人、「佐賀県」が529.8人となっている。一方、「東京都」が85.9人と最も少なく、次いで「神奈川県」が90.4人、「滋賀県」が109.9人となっている。（図5）

図4 人口10万対就業看護師数

令和2（2020）年末現在

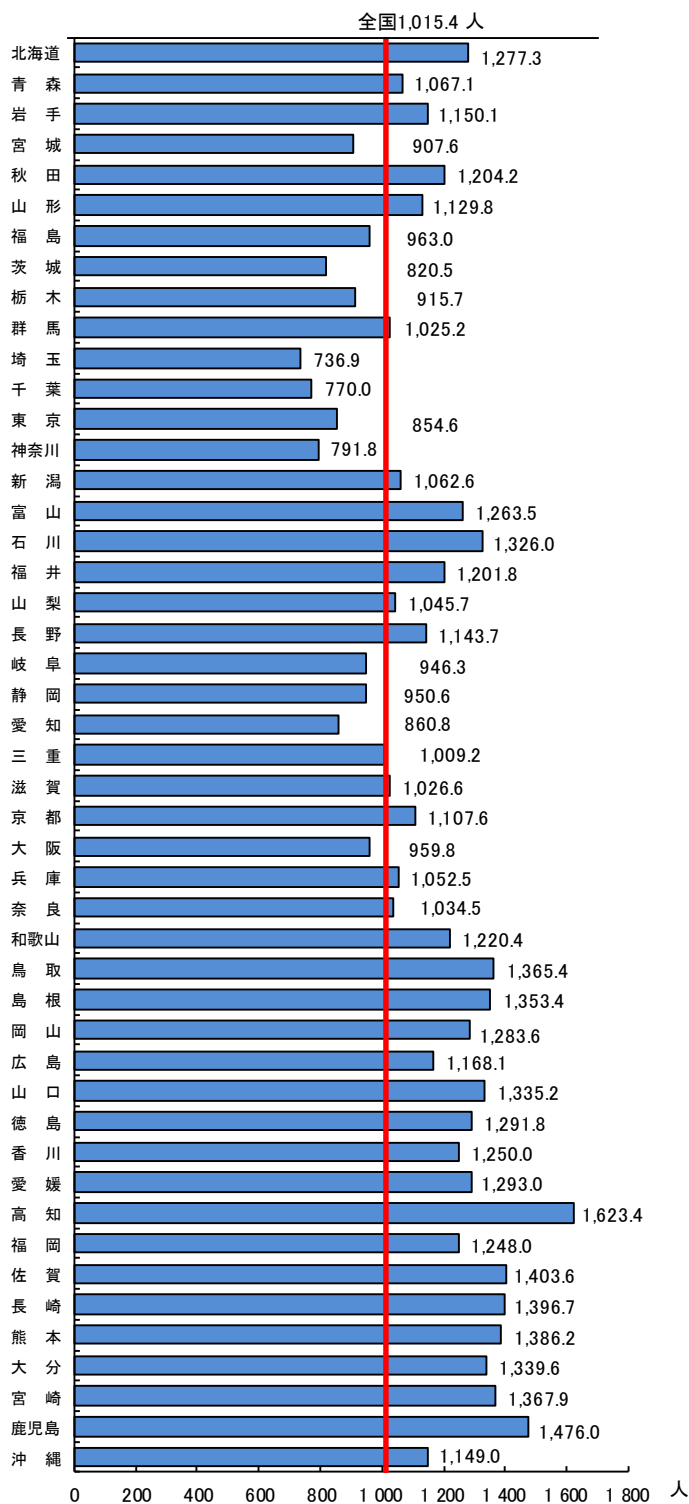


図5 人口10万対就業准看護師数

令和2（2020）年末現在

